

BAADASSSS!

A Mario Van Peebles Film

based on a true story of a revolution... SWEET SWEETBACK'S BAADASSSSS SONG

SHOWTIME INDEPENDENT FILMS Presents An MVP FILMZ Production A MARIO VAN PEEBLES Film "BAADASSSSS!"

Starring (in alphabetical order) JOY BRYANT, OSSIE DAVIS, DAVID ALAN GRIER, NIA LONG, PAUL RODRIGUEZ, SAUL RUBINEK, KHELO THOMAS, MARIO VAN PEEBLES, RAINN WILSON

Costume Designer KARA SAUN Music Supervisors G. MARO ROSELL, GARTH TRINIDAD Composer TYLER BATES Edited by ANTHONY MILLER, NNEKA GOFORTH Production Designer ALAN E. MURAKA

Director of Photography ROBERT PRIMUS, ASC Co-Executive Producer TOBIE HAGGERTY Co-Producer DENNIS HAGGERTY Executive Producers MICHAEL MANN, JERRY OFFSAY

Based on the Book SWEET SWEETBACK'S BAADASSSSS SONG by MELVIN VAN PEEBLES Screenplay by MARIO VAN PEEBLES & DENNIS HAGGERTY Produced and Directed by MARIO VAN PEEBLES

showtime independent films.



Motion Picture ©2003 Showtime Networks Inc. All rights reserved. SHOWTIME IS A REGISTERED TRADEMARK OF SHOWTIME NETWORKS INC., A VIACOM COMPANY

WINNER AUDIENCE AWARD 2004
PHILADELPHIA INT'L FILM FESTIVAL

OFFICIAL SELECTION 2004
SUNDANCE FILM FESTIVAL

OFFICIAL SELECTION 2004
BERLIN FILM FESTIVAL

OFFICIAL SELECTION 2003
TORONTO FILM FESTIVAL

これが
ブラック・ムービー
誕生の瞬間!!!!!!!!!!
『バッドアス!』

製作・監督・脚本・出演: マリオ・ヴァン・ピーブルズ
『ニュー・ジャック・シティ』、『黒豹のバード』、『ハンサー』

原案: メルヴィン・ヴァン・ピーブルズ
『スウィート・スウィートバック』より

製作総指揮: マイケル・マン
『アビエーター』『コラタール』『ヒート』

2003年/アメリカ/カラー
提供: キングレコード/配給: ミラクルフェイス

革命が伝説になった瞬間が今はじめてあらわになる!!!!

古くは「スーパー・フライ」(’72)、そして90年代に大ブームを巻き起こした『ドゥ・ザ・ライト・シング』(’89)、タランティーノの70年代ムービーへのオマージュ『ジャッキー・ブラウン』(’97)、最近ではオスカーレースを沸かした『レイ』(’04)。しかしブラック・ムービーの道のりは決して簡単なものではなかった。その昔、白人至上主義がはびこるハリウッドにおいては、黒人が黒人のための映画を撮ることは許されなかった。奴隷制は400年前の歴史上の出来事ではなかったのだ。そんな状況を1本の自主制作映画が変えた。メルヴィン・ヴァン・ビーブルズの『スウィート・スウィートバック』がそれだ。さかのぼること今から34年前、1971年のことだ。

メルヴィンは当時、ハリウッドにおいてそれなりの成功を収めていた。しかし映画会社が望む筋書きでは、いつだってフィルムの中の黒人は道化役を強いられており、そしてそれはメルヴィンにとっても付き合ひきれぬものではなかった。そして彼は完全自主制作で『スウィート・スウィートバック』の制作を決意する…。

本作『バッドアス!』は、そのブラック・ムービーの革命家=メルヴィンの闘争の記録である。そしてその記録者は、彼の姿を一番近くで見ていたメルヴィンの息子マリオ・ヴァン・ビーブルズだ。本作において、マリオは監督をこなしつつ、本編の主人公=父親メルヴィンを自ら演じている。マリオは役者だけでなく、初めてメガホンをとった『ニュー・ジャック・シティ』(’91/監督・出演)、『黒豹のバラード』(’93/監督・主演)、『パンサー/黒豹の銃弾』(’95/監督・製作・出演)など手掛ける、父親譲りの魂のフィルムメイカー。製作総指揮には『ヒート』(’96)、『アリ』(’01)、『コラテルラ』(’04)の監督マイケル・マンが、今回のマリオの熱い企画に心打たれ参加している。

『スウィート・スウィートバック』は、アメリカ中の黒人を鼓舞した。ブラックスプロイテーションの生みの親という存在を越え、それはブラックパワーの象徴すらあった。マルコムX、モハメド・アリ、ジューズ・ブラウンなどに並ぶもう1人のブラックヒーロー誕生の瞬間だった。



STORY メルヴィン(マリオ・ヴァン・ビーブルズ)は葛藤していた。本物の黒人のための映画を! — 彼は新作を完全自主制作で撮る決意を固めた。しかし、白人社会が実権をにぎるユニオンのもと、メルヴィンの現場のトラブルは絶えない。出資者逮捕による投資の中止、女優のドタキャン、クルーの逮捕、過労による視力低下、増え続ける借金など、不幸が波のように彼を襲う。しかし不屈の精神で作品を完成させた。タイトルは『スウィート・スウィートバック』。ようやく決まった上映館は全米中でたったの2館。B級の旧作ばかりを上映し、通常3本立ての劇場を、メルヴィンは懸命に口説き、単独上映にこぎつけた。いよいよ封切り日がやってきたが……。

ブラック・ムービー史上最重要作!『スウィート・スウィートバック』とは?

“ブラック・ムービーのゴッドファーザー”(©スパイク・リー)、メルヴィンは自身で集めたわずか15万ドルの資金で、自ら主演・監督・脚本・音楽などをこなし、白人社会に中指を立て、自ら意志を表明する、セクシーな“ブラック・ゲッター・ヒーロー”スウィートバックの登場に人々は熱狂。初回公開時には全米2館での公開だったが、ブラック・パンサー党はじめ口コミが広まり、1971年のインディペンデント映画興行収入ランキング第1位(『ある愛の時』を駆落として)に。当時まだ無名だったアース・ウィンド&ファイアーの起用は、その後の映画音楽の在り方にも大きな影響を及ぼした。



BAADASSSSSS!
★★★バッドアス!★★★

【2003年トロント映画祭 2004年サンダンス映画祭 ベルリン映画祭】正式出品、2004年フィラデルフィア映画祭観客賞受賞
製作・監督・脚本・出演：マリオ・ヴァン・ビーブルズ(『ニュー・ジャック・シティ』、『黒豹のバラード』、『パンサー』)
原案：メルヴィン・ヴァン・ビーブルズ(『スウィート・スウィートバック』より) 製作総指揮：マイケル・マン(『アビエーター』、『コラテルラ』、『ヒート』)
2003年/アメリカ/ヴィスタ/108分/ドルビーデジタル/原題：BAADASSSSS! 提供：キングレコード/配給：ミラクルヴォイス www.miraclevoice.co.jp



★★★★ 伝説の『スウィート・スウィートバック』(’71)も秋、ユーロスペースにてレイトショー決定!(デジタル上映)★★★★

9月レイトショー公開!!

特別鑑賞券 ¥1,500(税込) 絶賛発売中!!
[当日 ¥1,800(税込) の処] ★劇場窓口にてお買い求めの方
先着で、限定ポストカードプレゼント。

シネセゾン 渋谷

渋谷道玄坂・プライム6F 03-3770-1721
<http://www.cinemabox.com>

20th CENTURY FOX
PRESENTS
A FILM BY
MELVIN VAN PEEBLES
"SWEET SWEET BACK"